

WWL拠点校としての 3年間の軌跡と成果



2020年度文部科学省指定

カリキュラム開発拠点校:宮崎大宮高等学校

WWL

ワールド・ワイド・ラーニング
コンソーシアム構築支援事業

めざす人物像

多様な人々とゆたかな世界を
協創するイノベーター(変革者)

多様な人々と

台湾・ベトナム・シンガポール
米国と日本の高校生, 産学官の人々と

ゆたかな世界を

「食」を通して地球環境のゆたかさ
と人間社会のゆたかさをめざして
学際的に学ぶ

協創する

多様な人と協働して革新的な
プロジェクトを構想し,
実現に向けてとりくむ

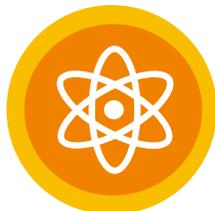
イノベーター

たくましく, しなやかな
CHANGE MAKERとの出会いから
社会を変えたいという気概をもつ

育成をめざす資質・能力



イノベーティブな
課題解決策を構想・
設計する能力



高度かつ学際的な知識にも
とづき、課題の理解や解決
策を提案する能力



多様な人々と課題解決に向
けて協働する能力

設定したテーマ



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

持続可能性
共生を追求

地球環境の
ゆたかさ

食

人間社会の
ゆたかさ

ゆたかな世界を描き、行動する
革新者(イノベーター)に！

拠点校：宮崎大宮高校

普通科

7クラス
×3学年

文科情報科

2クラス
×3学年



World Wide Learning

文部科学省の **ワールドワイドラーニング (WWL)**

コンソーシアム構築支援カリキュラム開発 **拠点校の1つ**

- 
- 1989 ● 文科情報科設置(←80年代:国際化・情報化)
■「**個性的**で**創造性**豊かな人物」(設定科目3科目)
- 2007 ● 「探究」プログラム開始 ←2008年:学区制の廃止
(学校設定科目廃止)
■理系文系を問わず、将来社会のリーダー
- 2015 ● SGH(スーパー・グローバル・ハイスクール)指定
■郷土に対する誇りと柔軟な**国際感覚**にあふれ、
協創力をもつグローバル・リーダーの育成
- 2020 ● WWLコンソーシアム構築支援事業
カリキュラム開発拠点校 指定

新教科

グローバル
協創

世界と
つなぐ

多様な人々と
協創するイノベーター

高校教育
創造的な学びの復活
(主体的・対話的で
深い学び)

社会と
つなぐ

大学の
学び
とつなぐ

7

WWL拠点校としての取り組み

- 1. 新教科「グローバル協創」(文科情報科必須)**
=文科情報科全員の必修 「**学びのコア**」
2. 授業研究と公開研究会(全職員, 全生徒)
=対話の深まる問いの工夫 「探究(コア)と教科をつなぐ」
3. イノベーションプログラム(希望者)
=TISP,米国短期留学 「社会(イノベーター)とつなぐ」
4. 海外研修・国際協働プログラム(希望者)
=台湾・ベトナム・シンガポールとの協働プログラム
「世界とつなぐ」
5. 大学教育先取り履修(希望者)
=「植物の栽培と管理」「データサイエンス入門Ⅰ・Ⅱ」
「大学の学びとつなぐ」

グローバル協創(Global Co-Creation)

1. 「多様な人々との協働に学ぶ」

“Learn by Collaboration with diverse people”

① “What am I?”

(私は何者か?)

② “How do I relate to others?”

(他者とどう関わっていくのか?)

③ “What will I contribute to the world?”

(自分は、世の中に何を貢献したいか?)

2. 「創造することで学ぶ」

“Learn by Creation”

- ①論理的思考 ②批判的思考 ③複眼的思考 ④水平思考
⑤共感 ⑥コミュニケーション

High Tech High(米国, サンディエゴ)

Millenium School(米国, サンフランシスコ)



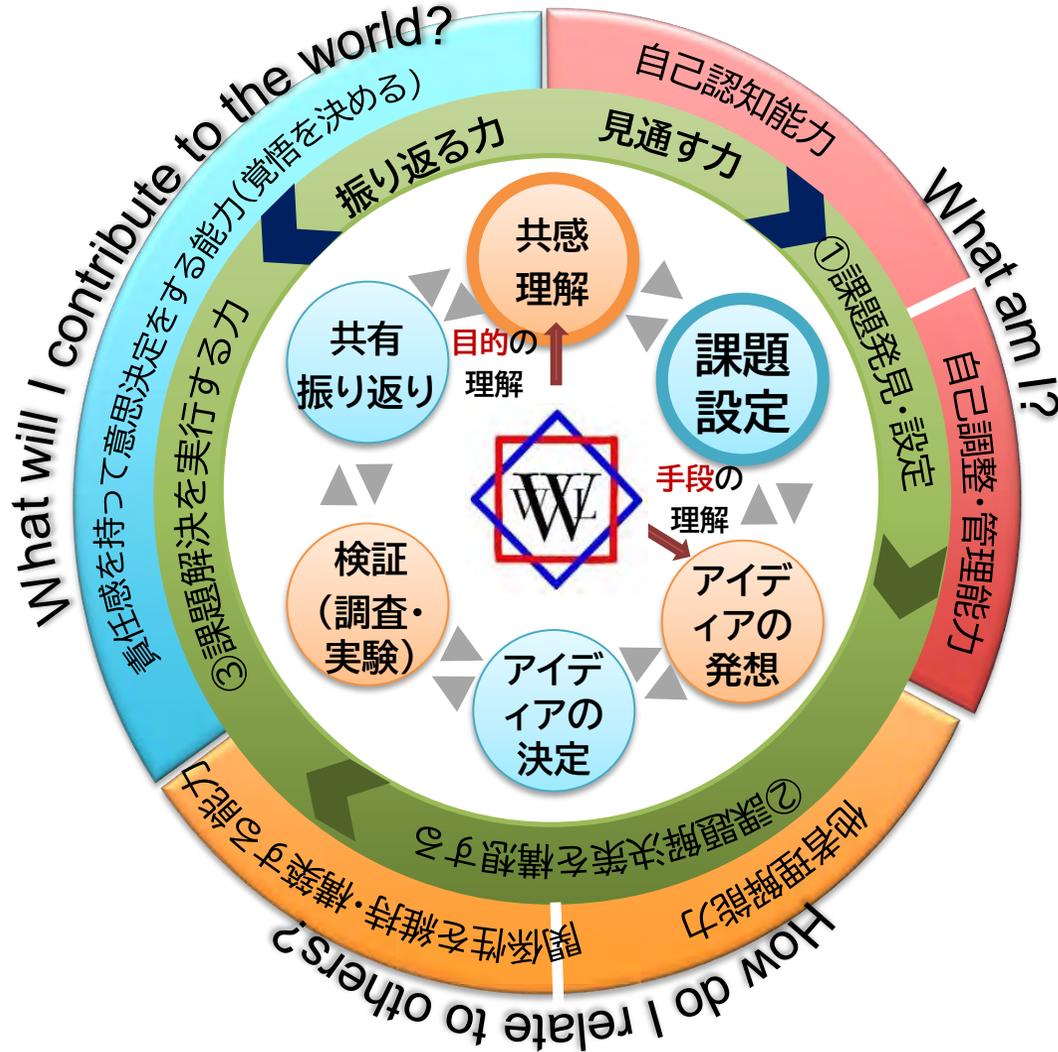
米国・シリコンバレーの, STEAM教育・デザイン思考に学ぶ!!



イノベーション創出に向けた 教育のためのカリキュ
ラムマネジメント 及びそれを支える環境の研究

～目米のPBLおよびSTEM教育の分析～

Miyazaki-Omiya H.S.
Co-Creation Learning Model



Human-centered
Innovation

グローバル協創 I

協創基礎×協創情報－プロジェクト学習でマインド・スキルを学ぶ

1年次:4月
未来図書館プロジェクト



チームでプロジェクトに取り組み、プロセスとマインドを学ぶ。

1年次:5～6月
SDGs×食プロジェクト



協創に必要な拡散と収束のスキルを、フレームワークを使って学ぶ。

1年次:7月
キャリア探究プロジェクト



協創の方法を活用して、自分自身の将来と、学びについて考える。

1年次

希望制のプログラム

プロジェクト/イノベーション

1年次:8月(選考)
FOCUS(全国高校生SRサミット)
(連携校:立命館宇治高校主催)



国内外の高校生と、各学校のプロジェクトについてディスカッションをし、ブラッシュアップします。(日・英)

1年次:8月(希望者)
TISP(イノベーション・サマープログラム)
(本校×JSIC主催)



プロジェクト学習で学んだスキルを活かして、国内外のイノベティブな学生達と、アイデアを共に創る。(日・英)

2年次

高校教育
創造的な学びの復活

世界と
つなぐ

グローバルプロジェクト

1年次:9月
SDGsフィールドワーク



新しいチームで、現地を訪れ、人々の理解・共感・洞察を

グローバル・コミュニケーション

1年次:12月
Global Camp



ALTとのチームで寝食を共にし、英語漬けの2日間。で会話する。英語スピーチコンテスト、英語ディベート、プロジェクトを共に創る。

1年次:12月
Global Camp



社会と
つなぐ

1年次:1～2月
プロジェクトを始動



国内のフィールドワークでの地域の人々や、グローバルキャンプでの外国人ALTとの対話をもとに、国内外で協働して取り組むプロジェクトを立ち上げる。この実現に向けて、課題研究を始める。

1年次:2月
国内外の人々と対話



1年次:3月
プロジェクトから研究へ



グローバル協創Ⅱ (海外連携校との共同研究)

2年次:4~7月
課題設定,研究計画立案



大学の
学び
とつなぐ

2年次:8~10月
調査・実験と結果・考察

2年次:11~3月
研究成果を社会に共有



宮崎大学・宮崎産業経営大学との高大連携のもと、課題研究に取り組む。一部のチームは、国内外連携校と連携した課題研究に取り組む。オンラインのコミュニケーションツールも用いながら、研究を進め、共同で発表する。

グローバル協創Ⅲ 高校生国際会議に向けて

3年次:4~7月
高校生国際会議に向けて



世界と
つなぐ

3年次:4~7月
研究論文の作成



大学の
学び
とつなぐ

3年次:9~12月
グローバル・キャリアパス



課題研究の成果を、国内外連携校が参加する国際会議を発表・議論。

研究成果を研究論文(日本語)にまとめ、社会に貢献する。

これまでの学びを振り返り、これからの学びを設計する。

国際協働プログラム

2年次

2年次:8月
台湾・ベトナム・シンガポール研修



世界と
つなぐ



海外連携校との協働した研究

連携校の高校・大学生とフィールドワーク・ディスカッション、プレゼンテーション

3年次

2年次:12月
国内研修

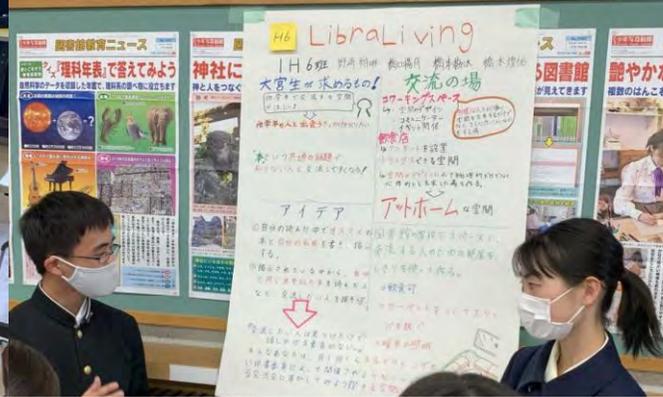


海外連携校との共同発表(希望制)

連携校の高校生が来日。実験教室、フィールドワーク、プレゼンテーション、ディスカッションを共に行う。

プロジェクト学習1

ニーズに応えた新しい図書館を構想する



新教科1年

プロジェクト学習で、

デザイン思考のマインドとスキルを学ぶ!!

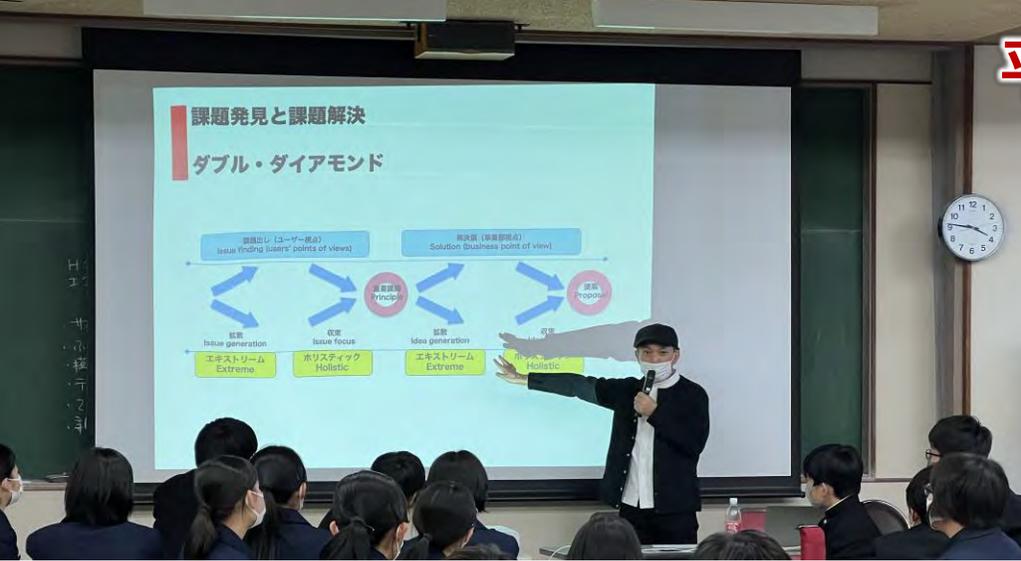
プロジェクト学習2

- マイナーな地域資源プロジェクト(2021)
- SDGsプロジェクト(2021)
- マイラーニングプロジェクト(2022)



平井康之先生(九州大学芸術工学院)

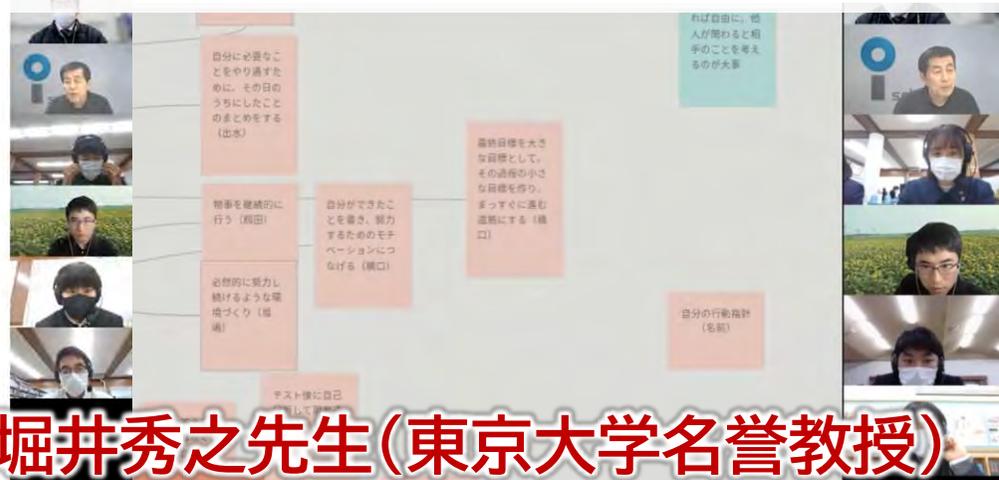
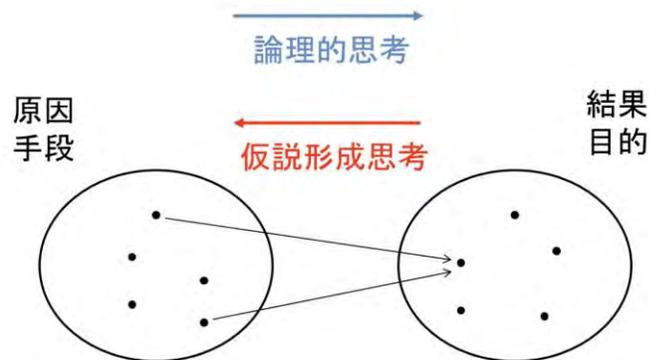
共感とアイデア発想



この写真は2019年

デザイン教育・イノベーション教育の牽引する先生の授業

論理的思考と仮説形成思考



堀井秀之先生(東京大学名誉教授)

i.School流イノベーターの分析とアイデア発想



1グループに1人ずつのALT

英語を考え, 英語で表現する
サポートをしてくれる



この写真は2019年

新教科1年

オール・イン・イングリッシュで

グローバルな課題を考えるグローバルキャンプ



英語ディベート

グローバルな課題を
肯定側・否定側に分かれて議論



英語プレゼンテーション

宮崎×グローバル
議論したアイデアを発表

食と文化と自然エネルギーの未来

宮崎市役所田野支所・道本食品

宮崎大学工学部



自然と食の未来

九州テーブル, 早川農苑



新教科1年

地元宮崎を舞台に,

人々との対話と経験から世界を考える!!



水環境と水産資源の利活用の未来

Green Fingers, しゃくなげの森



森林環境と利活用の未来

Hutte